ＮＩＥワークシート／小学校中学年～中学生 ／社会・総合　　なまえ【　　】

神戸新聞 2020年08月07日 金曜日 面名 広域神戸 １３ 22ページ

災害想定 食料、医薬品など積載　六甲山で実証実験

山上へGO　ドローン配送

「新たな可能性探る」

土砂崩れなどの災害時に小型無人機ドローンを使って物資を山上へ配送する実証実験が６日、神戸市の六甲山で行われた。中腹の鉢巻展望台と山上の六甲山ビジターセンターを結ぶ直線距離約１㌔を飛行させ、食料品や医薬品、ハザードマップなど７品を配送した。

（谷川直生）

㊧荷物を配達し終え、帰路につくドローン
㊨ドローンで山上に届いたすし折り＝いずれも６日、神戸市灘区六甲山町北六甲（撮影・中西幸大）

新型コロナウイルスの収束が見通せない中、市は市街地に近く密になりにくい六甲山上を、ビジネスや生活の拠点とする「六甲山上スマートシティ構想」を掲げており、実証実験はその一環。

ドローンベンチャーのトルビズオン（福岡市）が実験を主導し、違う顧客の荷物を混載することを想定して行われた。同社の増本衛社長(42)によると、混載便の実験は全国でも珍しく、顧客１人当たりの費用負担を軽減できることからビジネスモデルとして有望という。

湿布や漢方薬、すしなどの物資のほか、食品の鮮度を保つための保冷剤も積み込んだドローンが展望台を離陸。衛星利用測位システム（ＧＰＳ）機能を使った自動運転で約５分で山上まで荷物を運ぶと、待機していた関係者らが状態を確かめた。

増本社長は「十分に配送できることが検証された。今後は遠隔診療と処方箋が必要な医薬品の配送を組み合わせるなど、新たな可能性を探りたい」。市の担当者は「例えば三宮の中心地から商品を配送するといったプランも夢ではない」と期待した。

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

① 小型無人機ドローンを使った実証実験は何を想定して行われましたか。

□□□□ などの □□□ に □□ を山上へ配送する。

② 神戸市は六甲山上をビジネスや生活の拠点とする何を掲げていますか。

六甲山上 □□□□□□□ 構想

③ あなたが考えるドローン利用のあらたな可能性を書いてみましょう。